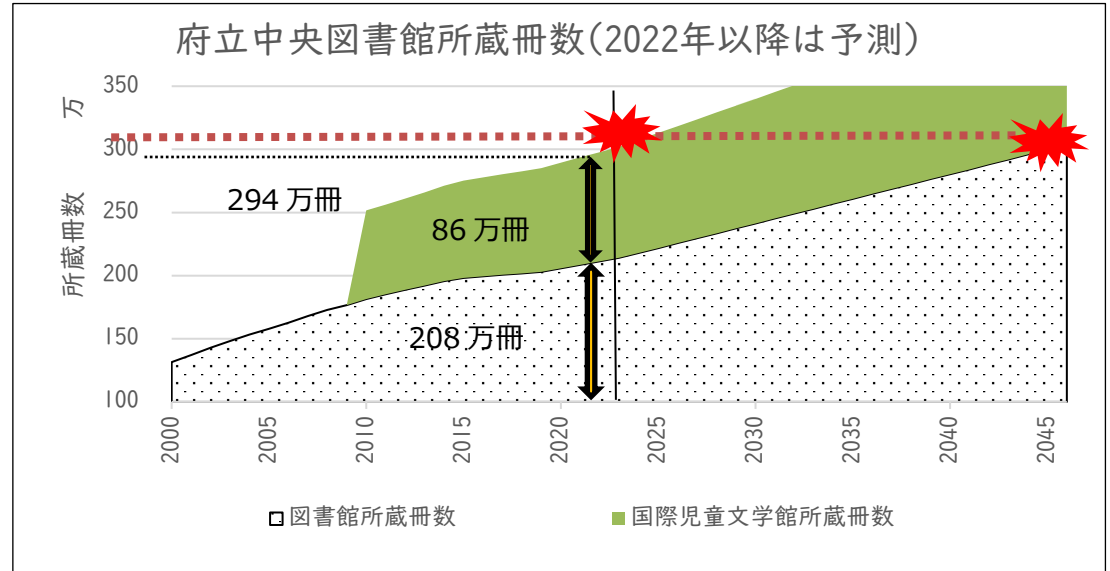


# 1. 中央図書館 書庫改修工事（基本設計・実施設計）について

開館当初の想定 中央図書館開館（中之島図書館と夕陽丘図書館の蔵書を移転）開館後約 50 年間の収蔵能力を確保

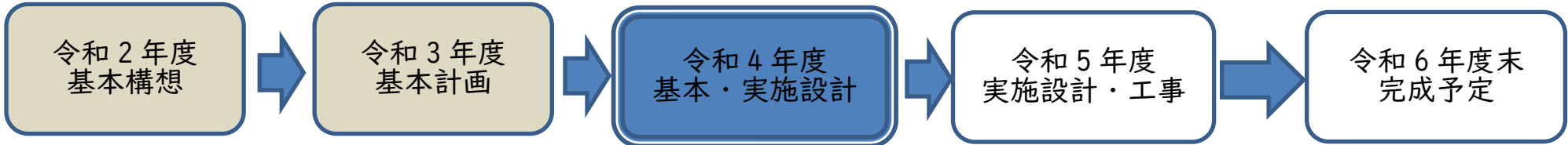


H22(2010)に当初想定になかった国際児童文学館移転により約 70 万冊増加、現在約 86 万冊。約 20 年分の図書館分の収蔵能力を使用。



**対応方針** : R6.2 に収蔵能力限界を迎える書庫問題解決のため、地下2階の駐車場を書庫化し、収蔵能力の確保を実現する

## 書庫改修のスケジュール



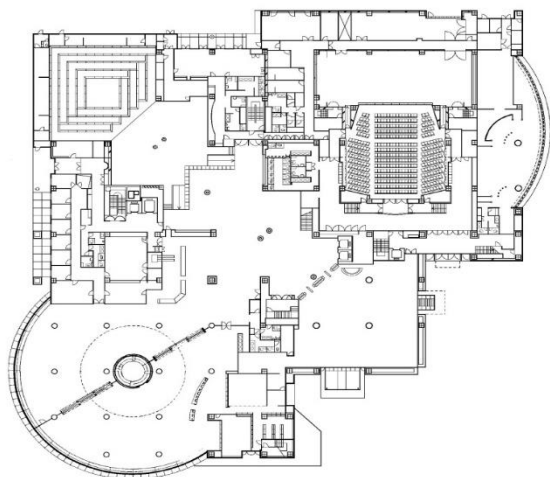
## 2. 中央図書館 特定天井改修工事について

平成 26 年度、府公共建築室が実施した調査において、当館エントランスホール及びライティホールの天井が『特定天井』に該当することが判明したため、耐震対策としての特定天井改修工事を実施。

### 【これまでの経過】

- 令和元及び2年度 基本設計実施
- 令和3年度 実施設計実施
- 令和4年度 改修工事開始  
(令和5年1月末完成)

1 階平面図



### ◎特定天井とは・・・

「脱落によって重大な危害を生ずる恐れがある天井」

のことで、次の全てに該当するものが特定天井。

- ・ 吊り天井（直天井は、特定天井に該当しない。）
- ・ 天井の高さ：6 m超
- ・ 面積：200 m<sup>2</sup>超
- ・ 質量：2 kg/m<sup>2</sup>超
- ・ 人が日常利用する場所に設置されている。

※ 今回の工事にあわせ、正面エントランス前広場の路面補修も実施済み。